

令和2年度 全建賞授賞事業一覧

異なる部門の事業が連携した取り組みの部（事業連携の部）

①ウポボイ（民族共生象徴空間）の整備～国立民族共生公園と周辺事業との連携について～	5
②CM方式の活用と公民連携による女川町震災復興事業の推進	6
③志津川地区における復興市街地整備事業と災害復旧事業等との連携	7
④令和2年7月豪雨における国道41号下呂市小坂町門坂地区災害の応急復旧工事	8

インフラ整備の事業又は施策の部（インフラの部）

災害復旧・復興以外の事業又は施策（一般枠）

【道路部門】

⑤中部横断自動車道城山トンネル（その2）工事	9
⑥官民連携による日光地域の渋滞対策～リアルタイム旅行時間表示システムの活用～	10
⑦地域高規格道路上信自動車道（金井IC～箱島IC）建設事業	11
⑧官民連携「君津モデル」橋梁点検	12
⑨京葉道路付加車線整備事業（船橋IC～武石IC、千葉東JCT付近）	13
⑩新東名高速道路6車線化事業の完成	14
⑪大井JCT付近の整流化事業	15
⑫道路協力団体「金沢片町まちづくり会議」と連携した地域活性化の取り組み～犀川大橋を活かしたまちづくり～	16
⑬主要地方道十日町当間塩沢線（当間工区）道路整備事業	17
⑭伊勢神改良事業新郡界橋橋梁建設工事	18
⑮国道136号雲見～松崎工区における富士見橋架設工事	19
⑯北近畿豊岡自動車道（日高豊岡南道路）建設事業	20
⑰淡路北スマートインターチェンジ整備事業	21
⑱堂島大橋改良事業～高齢アーチ橋の長寿命化対策～	22
⑲環状交差点（ラウンドアバウト）の整備（（主）浜田八重可部線防災安全交付金（改築）事業）	23
⑳重点道の駅「いたの」整備事業	24
㉑土木学会選奨土木遺産「大宮橋」の修復	25
㉒「甌はひとつ」50年間の甌島島民の願い（甌大橋：蘭牟田瀬戸架橋工区）	26

【河川部門】

㉓サンルダム建設事業	27
㉔舞鶴遊水地を軸とした「タンチョウも住めるまちづくり」の取組	28
㉕本宮市のまちづくりと一体となった治水対策の取り組み（阿武隈川・河川都市基盤整備事業）	29
㉖沖ノ鳥島管理保全事業観測拠点施設更新	30
㉗両国リバーセンター整備事業	31
㉘コロナ禍における防災啓発の試み～新しい生活様式を踏まえて～	32
㉙感染症蔓延下の災害対応にかかる取り組み～淀川流域三島地域～	33
㉚近畿河川技術伝承会と共働で取り組む不具合堤防を用いた点検技術向上講習	34
㉛船場川水系船場川洪水調節施設整備事業	35
㉜旭川放水路（百間川）河川改修事業	36
㉝鹿野川ダム改造事業	37
㉞雲仙・普賢岳直轄砂防事業	38

【都市部門】

㉟日本最深度の柱列式中連続壁工の施工について～江東ポンプ所江東系ポンプ棟建設その2工事～	39
㊱新宿中央公園の魅力向上に関する取り組み	40
㊲人工知能（AI）を用いた焼却炉閉塞抑制技術の開発	41
㊳横浜国際港都建設道路事業1・4・8号高速横浜環状北西線	42
㊴としまどりの防災公園の整備による防災機能の強化と地域の賑わい創出	43
㊵キセラ川西整備事業（阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業）	44
㊶阪神電鉄本線（鳴尾駅付近）連続立体交差事業	45
㊷大隅～十八条下水道幹線整備事業～シールド工事における急曲線施工～	46
㊸宮崎西インターチェンジ周辺防災支援拠点整備事業	47

【住宅部門】

㊹原山台住宅（7丁目）建替事業	48
-----------------	----

【建築部門】

㊺山形県総合文化芸術館整備事業	49
㊻紬織物技術支援センター拠点整備事業	50
㊼東京国際クルーズターミナル整備事業	51

④若者による“飛騨高山”の未来づくり「村半」整備事業	52
④9宮崎県防災拠点庁舎整備事業	53
【港湾部門】	
⑤0稚内港末広ふ頭岸壁改良事業～既存施設を活用した大型旅客船に対応した整備～	54
⑤1東京港臨港道路整備事業（南北線）	55
⑤2リサイクル骨材を用いたコンクリートの適用性の検討	56
⑤3地方港湾巖島港（宮島口地区）みなとの賑わいづくり事業（前期）	57
⑤4那覇空港滑走路増設事業	58
⑤5下関港海岸外浦地区における高潮対策事業～二重パラペット式護岸の整備～	59
【漁港漁場部門】	
⑤6檜山地区（乙部漁港）水産物供給基盤機能保全事業	60
【鉄道部門】	
⑤7無人駅における全国初の低コストな保安システムを採用した「北条鉄道 法華口駅 行違い設備」	61
東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（東日本枠）	
【道路部門】	
⑤8宮古盛岡横断道路（区界道路）整備事業	62
⑤9地域連携道路整備事業一般国道340号押角峠工区	63
⑥0地域連携道路整備事業（大沢～津軽石工区）	64
⑥1主要地方道岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐道路改良事業（志賀姥ヶ懐トンネル）	65
⑥2常磐自動車道（山元IC～岩沼IC間）4車線化事業	66
【河川部門】	
⑥3石井水門建設工事	67
⑥4河川等災害復旧事業（気仙川水門）	68
【都市部門】	
⑥5原釜尾浜防災緑地整備事業	69
⑥6鹿折地区及び南気仙沼地区における事業連携による早期復興の実現	70
【住宅部門】	
⑥7大熊町大川原地区災害公営住宅等整備事業（第2期）	71
【建築部門】	
⑥8東日本大震災・原子力災害伝承館整備事業	72
【港湾部門】	
⑥9宮古港海岸嶽ヶ崎地区港湾高潮対策事業	73
【漁港漁場部門】	
⑦0東日本大震災で被災した松川浦漁港の復旧	74
災害復旧・復興事業特別枠（災害枠）	
【道路部門】	
⑦1公共道路災害復旧事業・道路災害関連事業（国道156号尾神スノーシェッド）	75
⑦2令和2年度7月豪雨災害復旧対応（九州自動車道八代～人吉）～緊急開口部等を活用した災害復旧・地域支援対応～	76
【河川部門】	
⑦3厚真富里地区災害関連緊急傾斜地崩壊対策事業	77
⑦4令和元年東日本台風阿武隈川水系・鳴瀬川水系緊急復旧工事	78
⑦5令和元年東日本台風により発生した堤防決壊箇所での関東地整で対応した緊急復旧工事	79
⑦6千曲川の堤防決壊箇所における緊急復旧工事	80
⑦7平成24年7月九州北部豪雨《線状降水帯に伴う洪水被害》からの創造的復興（白川・黒川河川激甚災害対策特別緊急事業の完成）	81
【建築部門】	
⑦8令和2年7月豪雨に伴う宿泊施設の避難所活用のための応急補修関連事業	82
【港湾部門】	
⑦9令和2年7月豪雨における有明海・八代海に流出した漂流物回収活動	83
特定のインフラに係わらない公共事業全般に関する取り組み（特定インフラ以外の部）	
【安全・安心分野】	
⑧0おおさかタイムライン防災プロジェクト	84
⑧1令和2年7月豪雨におけるTEC-FORCEの自治体支援活動	85
【広報活動分野】	
⑧2沼津土木情報発信隊による広報活動	86
⑧3島根県石見地域の「インフラツーリズム」の取組み	87
【調査研究分野】	
⑧4身近な「気づき」を地域にいかす～府民協働型インフラ保全事業の推進～	88